

小原将照 先生

先生のプロフィール

【出身地】徳島県徳島市

【専攻】民事手続法（民事訴訟法、倒産法）

【近年(2~3年)の担当科目】裁判法、倒産法

【コロナ後に行きたい場所(国内でも外国でも)】
温泉



【ウィズコロナの時代において、先生が考える学生がすべきことを教えてください】

可能な限り人と交流することを避けたいです。ゼミなどでも感染が落ち
着いているときには食事会などを開催していますが、そういった場所に参加する
ことで、人とのコミュニケーション能力が磨かれていくと思います（&思いで作
りも大切です）。

【コロナ後の大学はどうなっていくと思いますか】

基本的に対面授業の有益性が見直されることになるでしょう。世間ではオンライ
ン授業が発展する、ということがいわれていますが、昔から通信教育系の学部の
卒業率が低いことは指摘されています。やはり自分だけで律することができる人
は少数派だと思います。

【100分授業になってからの変化、授業における工夫を教えてください】

さほど変化した点はないですね。ペーパーを書く時間が延びたかな（笑）。

【おすすめのお昼ご飯(学食に限りません、近隣のお店のメニューやお弁当)があれば教えてください】

からみそラーメン（ふくろう）は、東北地方を思い出すので好きですね。

小原将照ゼミの実態！（2021年度ゼミ生 B:22名 M：13名 A：15名）

小原将照先生のトリセツ

- ・学生主体を重視しているので、ゼミ中は基本的に説明だけして、あとは見守っている
- ・ゼミでの雰囲気は、裁判法のイメージと良い意味で真逆
- ・普段は気さくで、学生の相談には親身になって応じてくれる
- ・学生とよく話している
- ・独特な笑い方が特徴
- ・知識が豊富
- ・上級生との繋がりもつくってくれる
- ・キャリアに詳しく、進路相談にも応じてくれる
- ・懇親会ではたくさんお酒を飲んでいる

日々や休暇中の課題

うちのゼミ生は…

- 【日々の課題】**
- B) ・グループでの課題テーマについての報告の準備やレジュメの作成
- ・討論や交渉などの事前準備(グループで協力することが重要)
- M) ・ディベートや、プレゼン戦、交渉、仲裁等のグループワークが中心→事前の準備が非常に重要！！
- A) ・交渉・仲裁・裁判の事前準備(本当に重要です。チームで日程を合わせて何回か打ち合わせをして挑みます)
- 【2021年夏課題】** なし

- B) 男女比は9：13。グループは毎回くじで決めるので、いろいろな人と交流する機会があり楽しいです。皆、穏やかで仲が良いです。
- M) 男女比は7：6。グループワークの準備が重要なので、空き時間に集まることもよくある。継続組も多いが、新規組も一定数いる。準備では楽しく準備していることが多いが、ゼミ中は真剣に取り組む人が多い。
- A) 優しい人が集まっていますが、ゼミの活動への熱量は凄まじくとても真剣に取り組んでいます。討論で鍛えられることもあり意見をはっきり言える人が多いです。

ゼミのタイムスケジュール

0	先生による説明や流れの確認 討論、交渉等のグループ課題
30	↓
60	↓
90	先生の講評、事務連絡

このゼミで学びたい人へ

このゼミは、身近なトラブルから、法律問題に関するものまで、様々な与えられた課題を、実践形式で学ぶので、ただ座って学ぶのに飽きた人にはおすすめです。また、基本的にグループワークが中心なので、とにかく事前準備に時間がかかること、討論に意欲的に取り組む姿勢が求められることから、コミュニケーション能力を鍛えたい人や、真面目な人には向いているゼミだと思います。